

「萬代橋新聞」の完成を楽しみにしています！

12月2日（金）に新潟市立万代長嶺小学校へ行き、「萬代橋の管理」について4年生54名へ話してきました。

4年生は、総合的な学習として、「萬代橋」について学んでいて、これから「萬代橋新聞」を作るそうです。以前に萬代橋を見学した際、底面に書かれているたくさんの『+』を発見し、「これは何だろう？橋を管理している“にいこく”へ聞いてみよう。」ということで、今回の出前講座を行う運びとなりました。

児童が発見したこの『+』は、橋を点検するときの目印です。『+』に囲まれた範囲をカメラで撮影し、画像をつないで壊れた場所がわかるように図にします。『+』が図を描くときの目印になっているのです。

その他、「どんな仕事をしていますか。」「仕事をしていて、嬉しいことは何ですか。」など、多くの質問も寄せられました。児童たちから「萬代橋を大切にしたいと思った。」「国道事務所の人たちは、私たちの知らないところで頑張っているとわかった。」「掃除をしたり、パトロールをしたり、大変だなと思った。」「落書きは書くのは簡単だけど、消すのは大変というのがよくわかった。」「国道事務所の方は、落書きを消したり頑張っているの、ぼくたちは萬代橋を大事にして、困らせないようにしたい。」という嬉しい感想をいただきました。

今回聞いたことから新たに感じた思いも含めて、より思い入れのある「萬代橋新聞」になれば嬉しいものです。完成したらぜひ見せていただきたいと思いました。

関連URL：記者発表資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/2011112901demaekouza.pdf>

関連URL：重要文化財『萬代橋』に関するサイト

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/info/bandaibashi/index.html>



児童から積極的に質問・感想をたくさんいただきました



萬代橋の底面の『+』印

降雪前の安全点検を行いました。



12月5日（月）に、本尊岩地区（東蒲原郡阿賀町大牧から黒岩間）の落石危険箇所の安全点検を行いました。

本尊岩は、阿賀町の国道49号沿いにあり、落石が繰り返し発生する危険な箇所、毎年4回点検しています。

今回の点検は、降雪前に落石危険箇所の斜面変状や落石防止網等の防災施設の損傷について実施したものです。

点検の結果、岩盤斜面の変状や落石防止網等の施設変状等の異常は発見されませんでした。

新潟国道事務所では、引き続き24時間体制による監視、異常時（大雨、地震、落石発生時）の点検を行い、一般交通の安全を確保するなど、安全で安心できる暮らしを支える道路を守っています。

関連URL：記者発表資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/2011112902honzoniwa.pdf>

編集・発行・お問い合わせ

国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所 計画課

電話 025-244-2159（代表） 〒950-0912 新潟県新潟市中央区南笹口2-1-65

E-MAIL：niikoku@hrr.mlit.go.jp みちナビ新潟：<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/index.html>

